

こめ〜る

2020年 10月号

発行日:2020年10月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部販売企画課 藤巻・渡辺
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

今年の新米の出来は…?

9月10日に畑野倉庫にて初検査が行われました。早生品種であるこしいぶきや酒米の五百万石など、1,324袋の検査が行われました。初検査の1等米比率は89.5%で、検査員からは「7月の日照不足と8月の高温により、青未熟粒と胴割粒がありました。粒張りや粒揃いは平年並みでした。今後は刈り遅れに注意しながら、丁寧に乾燥調整を行ってください。」と講評がありました。



稲刈り作業は順調です

9月に入り、稲刈りが本格的に始まりました。今年は7月に長雨が続き、日照不足が心配されましたが、8月からは好天に恵まれ大きな被害も無く生長しました。収穫期の9月も天候に恵まれ、順調に刈り取りが行われました。



刈り取り適期を逃さぬように!

8月26日から9月11日までの間、佐渡米未来プロジェクト「品質向上90」の刈り取り指導会が行われました。稲刈り前最後の指導会では、自身の圃場の稲を持ち寄り、黄化率の見極めが行われました。見極めには白カルトンや佐渡米カレンダーが使われ、農家の人たちは稲を見本と見比べながら田んぼの状況を確認しました。



刈り取り指導会の様子をご覧いただけます。

刈り取りラッシュでてんでこまい

カントリーエレベーターで令和2年産米の受け入れが行われています。8月末の新潟次郎から始まり、こしいぶき、コシヒカリと刈り取りの最盛期を迎え、カントリーエレベーターには籾を満載したトラックが次々と並び列をなしています。

持ち込まれた籾は乾燥してサイロに保管し、出荷される日を待ちます。おいしい佐渡の新米、お届け出来るまでもう少しです。



甘〜いいちじくいかがですか?

8月25日にいちじく「ビオレ・ソリエス」の出荷目合わせが行われました。今年は7月に長雨が続きましたが、8月は好天に恵まれたため順調に生長しました。ビオレ・ソリエスは生産者が少なく、市場に出る量も少ないため「幻の黒いちじく」とも呼ばれています。今年も糖度十分な、甘いイチジクがお目見えです。

